

Betsy JOLAS

ベッツィー・ジョラスの初来日とそのコンサート
にあたり、心からお喜びを申し上げます。
代表作の一つ、あの素晴らしい「カルテット第2
番」で、意味を持たないはずのソプラノが歌うテ
クストから偶然聴こえる「汽車は出た」！その言
葉の国へ、ようこそ。
パリのコンセルヴァトワールのあなたのクラスで、
作曲とアナリズを勉強できたことは、私にとっ
て唯一無二の体験でした。
いつまでもお元気で、そして創作が何ものにも妨
げられないことを願ってやみません。

野平一郎

ジョラス先生とは、1990年に先生のご自宅のあるサンジェ
ルマン・デ・プレで初めてお目に掛かりました。洗練され
た芸術家らしいお宅にため息の出る想いがしました。その
後、パリ国立音楽院で作曲科の楽曲分析の授業でお世話に
なりました。客観的かつ繊細な分析法に初めて触れ、圧倒
されたほどの感動は、今も私の記憶と当時の講義メモの入
った楽譜に残っています。本日、ジョラス先生が桐朋学園
にいらしてくださったことを、心より嬉しく感謝いたしま
す。

金子仁美

2006年7月13日 (木) 開演 17時 (会場 16時30分)

於 別館ホール

ベッツィー・ジョラス Betsy JOLAS

1926年、パリ生まれ。作曲家、指揮者、オルガニスト、ピアニスト。パリ国立高等音楽院で教授を務め、米国ではイエール、ハーバードなどの大学でも教鞭をとる。ORTF賞、クーセヴィツキ財団賞、SACEM大賞、国際モーリス・ラヴェル賞、レジョン・ドヌール・シュヴァリエ賞など、数々の賞を受賞。ジョラスの作品は、世界の第一線で活躍する演奏家や演奏団体（クロード・エルフェ、ケント・ナガノ、ウィリアム・クリスティ、ストラスプール・パーカッション、アンサンブル・アンテルコンタンポラン、ロンドン・シンフォニエッタ）によって取り上げられ、CDもEMI、Erato、Adès、Barclayなどのレーベルから、リリースされている。

34 *Le pont du steamer H.S. A.S. et voyageurs assis au bagageage. Scène 1.* Scène 1

Fl. (Fl.)
Cl. A
Cl. Bb
Bsn.
Sax.
Tpt.
Tbn.
Tub.
Perc.
Voyageurs (Chœur mix)
Vc. (m)
Cb. (m)

à voir exemple de réalisation dans la réduction piano et chant - départ non simultané

Extrait de l'opéra Schlieman

挨拶

作曲科主任 安良岡 章夫 Akio YASURAOKA

ベッツィー・ジョラス氏講演

(20世紀の音楽から近作まで)

ベッツィー・ジョラス氏作品演奏

Titivillus ティティヴィリウス (2000)

吉川 真澄 Masumi YOSHIKAWA soprano

永井 由比 Yui NAGAI flute

鷹羽 弘晃 Hiroaki TAKAHA piano

Piècesjajpieces ピエスジェイピーシーズ (2001)

須関 裕子 Hiroko SUSEKI (桐朋学園大学 4年) piano

Trio トリオ (1988)

依田 真宣 Masanobu YODA (東京藝術大学 3年) violin

山田 幹子 Mikiko YAMADA (同 1年) cello

浅井 謙 Ken ASAI (同 1年) piano

休憩 Pause

ベッツィー・ジョラス氏による公開レッスン

1. 中本 芽久美 Megumi NAKAMOTO (桐朋学園大学 研究科 1年)

Sylvia Plath の詩による "Last Words"

田中 紗綾子 Sayako TANAKA (桐朋学園大学 研究科2年) soprano

田沢 蓉子 Yoko TAZAWA (同 研究科1年) english horn

小川 園加 Sonoka OGAWA (同 研究科2年) harpshichord

2. 関戸 正清 Masakiyo SEKITO (桐朋学園大学 4年)

ピアノのための「ファンタスマゴリア」

「Phantasmagoria」 for piano

平山 友理 Yuri HIRAYAMA (桐朋学園大学 2年) piano

3. 平井 和音 Kazune HIRAI (桐朋学園大学 3年)

「笑いと叫びはよく似ている」～弦楽四重奏のための～

十文字 真名子 Manako JYUMONJI (桐朋学園大学 3年) 1st violin

増島 知子 Tomoko MASUJIMA (同 2年) 2st violin

高木 真悠子 Mayuko TAKAGI (同 3年) viola

岡部 恵理 Eri OKABE (同 2年) cello

$\text{♩} = 84$
 cresc. Stripes moon I do not want a plain box, *f*

(中本 芽久美)

loco

(関戸 正清)

(♩ = 130)
 Violino I *sf* *ff*
 Violino II *f* *ff*
 Viola *f* *sf* *ff*
 Violoncello *f* *ff*

(平井 和音)

桐朋学園大学のご厚意により日本の音楽教育機関で、世界的な大作曲家ベッツィー・ジョラス氏の講演が実現しますことを非常にうれしく思います。

また、東京藝術大学の藤井一興氏の現代ソルフェージュのクラスと、桐朋学園大学の鷹羽弘晃氏の熱意と才能に満ちた寛大さにより、ここにおいて現代の生ける音楽の表現のために、日本の音楽大学間の協力が自然かつスムーズに行われたことも大変喜ばしいことです。

このコラボレーションは、それぞれの教育機関の「エスプリ」を超えて、より人間的な明日の社会へと進んでいく今日の芸術のために、芸術家たちが、熱意をもって集うただ一つの家族を成していることの証です。

テシュネ、ローラン